

# グループ2

多目的活動・交流を中心としたエリアにしたい

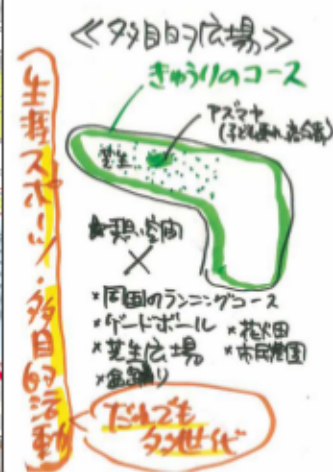
・憩い交流系・多世代：生涯スポーツ、多目的な活動で交流ができる

2つのゾーンを、それぞれ違う機能を持ったエリア（広場）として活用する

競技スポーツを中心としたエリアにしたい

・アクティブ・ハード系・子ども/大人：競技スポーツを本気でやる

イメージ：多目的活動・交流エリア（農・自然共生ゾーン）



- ・だれでも、多世代が楽しめる広場
- ・憩いの空間+多様なアクティビティ
- ・周囲にランニングコース（きゅうりコース）を設置
- ・ゲートボールができる（ハードではなく、健康づくり系のスポーツができる）
- ・芝生広場を配置
- ・盆踊りをする
- ・多世代交流の四阿
- ・市民が管理する花畑や農園を配置する
- ・元々あったはずの「良い土」を戻して造成してほしい

機能分担

イメージ：競技スポーツエリア（スポーツ・交流ゾーン）

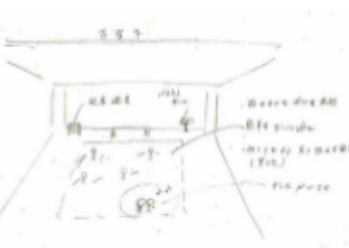


- ・北野スポーツ広場の代替機能を持たせることが重要
- ・野球、サッカーなどが競技として本気でできるエリア
- ・敷地北側には、ユーティリティ施設を配置（更衣室、トイレ、管理棟、駐車施設など）

雨天時も子どもが自由に遊べるちびっこ広場がよい

・遊具は最低限、ボール遊びもできる多目的な広場

イメージ：ちびっこ広場



- ・雨の日でも遊べる空間
- ・健康遊具とバスケットゴールくらいを置き、あとは作り込まず、走り回れる、ボール遊びが思いっきりできる空間
- ・ダンスもできる

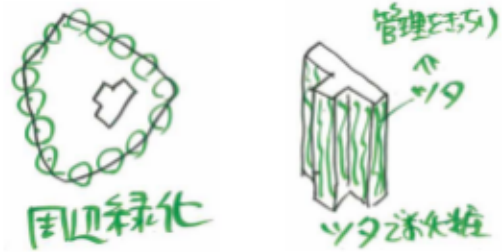
駐車場を確保してはどうか

- ・「農・自然共生ゾーン」や「スポーツ・交流ゾーン」への来場者用の駐車場
- ・各ゾーンへのアクセス動線を確保する
- ・あえて歩いてもらうことも良い

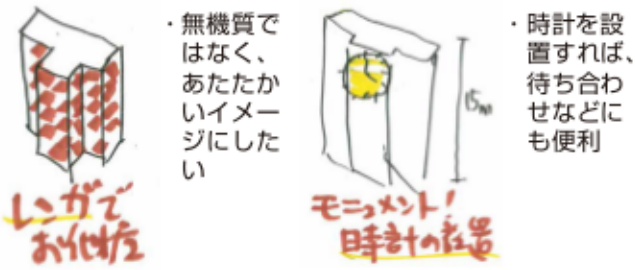
周辺との調和に配慮して換気塔をデザインする

- ・本物の緑で緑化する
- ・緑化した場合は、周辺との調和がきちんと保たれるように、定期的な管理がとても大切である。

イメージ①：緑化（本物の緑で）



イメージ②：修景やモニュメント化



- ・無機質ではなく、あたたかいイメージにしたい

- ・時計を設置すれば、待ち合わせなどにも便利

農・自然共生ゾーン

農・住調和形成ゾーン

スポーツ交流ゾーン

付帯工作物との連携ゾーン

都市計画道路で分断されない工夫をしたい

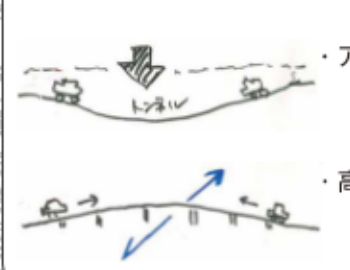
動線や空間、コミュニティをつなぎたい

イメージ①：憩いの沿道空間形成



- ・歩車分離で安全確保
- ・小さな樹木で子どもと共に成長
- ・四季を感じる樹木（春：桜、秋：紅葉）
- ・日除けと交流の四阿
- ・トイレ
- ・防災設備
- ・切り株のイス

イメージ②：南北の歩行者動線の確保



- ・アンダーパス化
- ・高架化

利用制限有り(管理施設)  
利用制限有り(調整池)  
※上記の範囲以外に管理用のスペースが必要となる場合があります。

